



第4回定例会は、11月29日から12月16日まで開催されました。子ども医療費の拡充や、物価高騰対策、新型コロナの検査拡充など市民の願いを取り上げ、市長に実施を迫り、改善が図られました。

今年も市民生活優先の市政の実現に奮闘します。

子どもの医療費薬局窓口負担の「見直し検討」へ 市民の運動と日本共産党千葉市議団の議会質問が市を動かす

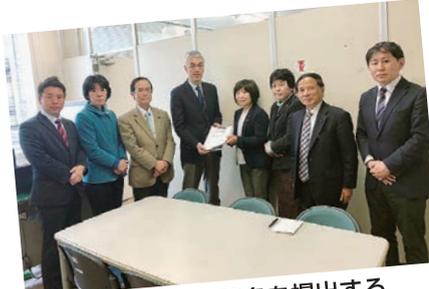
日本共産党千葉市議団は、12月議会でも「薬局窓口負担はただちにゼロを」と求めました。

市が窓口負担を決めた2019年以降、子どもの医療費充実に求めてきた市民団体からの6回の請願の紹介議員となり、薬局窓口負担の撤回を求めてきました。

今議会では他会派からも見直しの質問があり、市は「新型コロナの影響や物価高騰など情勢が大きく変化している状況、子育て支援の一層の充実の観点から保護者負担の見直しを早期に検討」と表明しました。市民の運動と、党市議団の議会質問が、ついに千葉市を動かしました。

自民、公明、未来立憲は 質問で「見直し」を指摘しながら、薬局窓口撤廃求める請願に反対!?

自民党や公明党、未来立憲民主ちばの会派は、代表質問(12月6・7日)で「薬局窓口負担の見直し」を市に指摘しているが、請願が審査された教育未来委員会(12月5日)では「請願の内容は理解するが賛成しかねる」と反対しました。これでは筋が通りません。



薬局窓口負担中止署名を提出する党市議団 (2020年3月)



窓口負担撤回署名を提出する市民団体と党市議団 (2021年2月)

請願に対する各会派の態度

(○=賛成 ×=反対)

請願名	共産党	未来立憲民主	自民党	公明党	自民党・無所属の会	市民ネット
第2子の学校給食費無償化を求める請願	紹介○	×	×	×	×	×
子ども医療費助成制度、助成対象を18歳まで拡充、を求める請願	紹介○	×	×	×	×	○
子ども医療費助成制度の保険調剤について保護者負担の撤回を求める請願	紹介○	×	×	×	×	×

コロナ禍と物価高騰から

千葉市独自の対策で市民生活をまもれ

日本共産党千葉市議団は、新型コロナ対策・物価高騰への支援策を提案

無料PCR検査再開

議会質問で求めてきた65歳以上の市民が対象となる無料PCR検査事業が12月16日から再開されました。期間は当面、今年2月28日までです。インターネットだけでなく、電話での受付も行われています。

65歳以上無料PCR検査コールセンター
050-3385-9113

- 下水道使用料の減免は4か月限定でなく、コロナ収束まで継続を
- 国民健康保険料の引き下げと、子どもの均等割保険料の5割軽減を義務教育まで拡充を
- 保育料は減免し、物価高騰でも子どもルームのおやつ代など保護者負担を増やさず、おやつ量の低下をまねかないこと
- 給食費無償化は第3子以降だけでなく、すべての子どもを対象に
- 電気・ガス代の支援とあわせ、プロパンガス利用者の支援を市独自で行うこと



ご意見・ご要望をお寄せください